



2019年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社インテリジェント ウェイブ
代 表 者 名 代表取締役社長 井関 司
(コード番号：4847 東証第一部)
問 合 せ 先 専務取締役 垣東 充
(TEL. 03-6222-7015)

中期事業計画の策定に関するお知らせ

当社は、2018年8月1日に開示した中期事業計画(旧計画)を見直して、2020年6月期から2022年6月期に至る中期事業計画(新計画)を策定したので、お知らせします。

記

(新計画)

(単位：百万円)

	2019年6月期 (実績)	2020年6月期 (予想)	2021年6月期 (計画)	2022年6月期 (計画)
売上高	10,443	10,600	11,200	12,000
金融システムソリューション事業	9,336	9,400	9,900	10,600
プロダクトソリューション事業	1,106	1,200	1,300	1,400
営業利益(率)	921 (8.8%)	1,000 (9.4%)	1,080 (9.6%)	1,200 (10.0%)

(旧計画)

(単位：百万円)

	2019年6月期 (予想)	2020年6月期 (計画)	2021年6月期 (計画)
売上高	10,700	11,000	11,200
金融システムソリューション事業	9,300	9,500	9,600
プロダクトソリューション事業	1,400	1,500	1,600
営業利益(率)	880 (8.2%)	930 (8.5%)	1,000 (8.9%)

見直しの理由

2019年6月期の実績は、売上高10,443百万円(期初予想10,700百万円)、営業利益921百万円(期初予想880百万円)でした。営業利益は期初予想を超えて、2018年8月1日に開示した旧計画における2020年6月期の計画値である930百万円にほぼ近い実績でした。

2019年6月期は、大型開発案件の中断という、期初想定していなかった事案も発生しましたが、当社の事業環境に大きな変化はありません。事業環境はこれまでと変わらない前提で中期事業計画を見直し、

本日、新計画として開示します。新計画は、2022年6月期に売上高12,000百万円、営業利益1,200百万円、営業利益率10.0%を目指します。

新計画は、次の大型開発案件の候補を織込まず売上高を計画しました。足元の事業環境からは、大型開発案件がなかったとしても中期的に増収の基調を維持できるものとみられます。

クラウドサービス事業は、金融業界の顧客向けに、アクワイアリング業務（加盟店契約業務）や不正検知業務のためのシステムサービスを提供しています。これまで同様、同事業は当社の成長を牽引する重要な施策として、中期的に売上高1,400百万円（2019年6月期実績637百万円）を目指します。

当社は、現在、主にクレジットカード決済のネットワーク接続や、認証等の機能を担う当社製品NET+1（ネットプラスワン）の次世代版となる新製品を開発中です。

この次世代NET+1やクレジットカードの不正検知機能を提供する新製品の準備は順調に進んでいます。また、放送業界向けの新製品は、今期からマーケティング活動が本格化する予定です。

これらの新規商材は、中期的に売上高を増やしていくことが見込まれます。現在のところ、その規模は未確定であるため、明確な数値を計画に織込んでいませんが、各年度の計画売上高（10,600百万円、11,200百万円、12,000百万円）を上回る実績をあげるべく事業に取り組めます。

新計画においては、2022年6月期に営業利益率10.0%の達成を目標として収益力の強化に取り組む方針です。

当社は、品質向上の取り組みを継続的に強化しています。クラウドサービス事業の損益も、売上高の増加に伴って徐々に改善していく予想です。

2020年6月期の営業利益は、旧計画を1年前倒しした1,000百万円を予想します。

以上